授業科目名： 環境と倫理	教員の免許状取得のための 選択科目	単位数： 2単位	担当教員名： 尾上伸一 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校 社会、高等学校 公民）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項 ・「哲学、倫理学、宗教学」 ・「哲学、倫理学、宗教学、心理学」		
「学位授与の方針」との関係 DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 【授業のテーマ】 環境倫理を「環境＝身のまわり」「倫理＝規範的な価値判断」と、身近にとらえられるように授業を組み立て、現代の環境問題の解決に向けて「社会的アクション」を身近なところから起こしていくことの意義を理解し実際に取り組めるようにする。 【到達目標】 ・環境倫理の三つの基本主張について理解し、環境倫理が社会倫理であることを説明できる。 ・環境倫理の三つの基本主張それぞれの具体的な地球規模の課題について自分なりの倫理観をもつことができる。 ・身近な地域からローカルな環境倫理を見つけ関りをもつことができる。 ・身近なところから環境倫理の「社会的アクション」を起こす意欲をもつ。			
授業の概要 本授業では、環境と倫理の基本主張、基本主張の具体、社会倫理を支える個人倫理、地球規模の環境問題への対応、身の回りに存在するローカルな環境倫理を理解し、身近なところからの環境倫理の社会的アクションを起こす意欲を持つことをねらいとする。			
授業計画 第1回：ガイダンス テキスト「はじめて学ぶ環境倫理」 ・環境倫理は身近なもの 自分の話 ・環境倫理＝身のまわりのことに対して「べき」「するな」という規範的な価値判断をすること 課題①：1日の生活 環境倫理タイムテーブル 第2回：環境倫理学の3つの基本主張から環境倫理が社会倫理であることを説明する ・Webサイト「ロカボラボ」 社会全体の電力の浪費に関心を持つことー環境倫理の目指す方向性 課題②：サイトを見て 関心を持ったトピックとサイトの紹介 第3回：環境倫理学の三つの基本主張～自然の生存権～世代間倫理～地球全体主義～社会倫理としての環境倫理 課題③要約の形で環境倫理が社会倫理であることを説明する 第4回：将来世代に配慮する 意思決定の具体を示す 課題④：将来の人たちの幸せを考えて意思決定していることをあげてみる（ごみ問題、長く使える製品、古家を直して暮らす…） 第5回：第3章 地球温暖化を止めるために 個人ができることを考える 課題⑤：「エコジカルフットプリント」のサイトを見て 地球にやさしい生活を送るために実行できることをまとめる 第6回：外来種・「増えすぎた生き物」問題から 動物倫理と環境倫理を考える 課題⑥：環境省 侵略的な外来種のサイトを見て 「外来種の命をどう考えるか」自分の考えをまとめる 第7回：個々の地域に存在するローカルな環境倫理を見つける 課題⑦：資料として提示した事例を参考に、身の回りの地域から「地域の倫理や文化を軸に、人の手を入れて環境を保全している」取り組みを見つけ環境倫理を考える（資料 校庭里山の楽しい学校 学校を拠点に個々の地域から立ち上げる保全型（C型）環境倫理） 第8回：アメニティマップづくりから身近な環境をとらえ直す 課題⑧：資料として例示した「アメニティマップ」を参考に実際に作成してみる 第9回：ローカルな環境倫理 アメニティ（快適な生活環境）創出 事例として 課題⑨：視聴した感想を寄せる（資料 学校をあらためて見てみよう 「花鳥風月の大冒険」から） 第10回：古い建物を残す理由を考える 資料 地域の空きスペースを「つながる」拠点に変える！ 課題⑩：コンセプト動画も見たうえで古い建物を残す理由を考える 第11回：身近なところから環境倫理の「社会的アクション」を起こす 課題⑪：ユニセフ「SDGsって何だろう」のサイトを見て、「SDGsの前文・宣言」を読み 理解を深める 第12回：上のサイトの「みんなの行動宣言」を見て（+資料 校庭里山の楽しい学校） 課題⑫：実際にSDGsの行動宣言を行う 第13回～第15回：社会的アクションとしての自らの「環境倫理」実践紹介 第13回：課題⑬：横浜市共創セッション 全国リビングラボネットワーク会議 YouTube配信を視聴する 第14回：課題⑭：尾上校長の六浦小学校訪問レポート（前編）「とにかく子どもが幸せに生きていけるように」を読む 第15回：課題⑮：尾上校長の六浦小学校訪問レポート（後編）「とにかく子どもが幸せに生きていけるように」を読む 第13回～第15回の講義をまとめとし、「身近なところから環境倫理の『社会的アクション』を起こす」をテーマに課題①～⑫までを包含するレポートを提出する。			
スクーリングでの学修			
テキスト 吉永明弘(著) (2021) 『はじめて学ぶ環境倫理 未来のために「しくみ」を問う』ちくまプリマー新書 978-4-480-68416-5 ユニセフ「SDGsって何だろう？」 https://www.unicef.or.jp/kodomo/sdgs/about/			
参考書・参考資料等 ロカボラボ https://lo-cabo.com/ 「合同会社リブルン」 エコジカルフットプリントとは https://www.egmkt.co.jp/column/consumer/20230727_EG_348.html 「エバーグリーン・マーケティング」 環境省 侵略的な外来種 https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/invasive.html			
学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			